

## はしがき

本書は、主に国際関係論（国際政治学・国際法学）に関する科目を履修する学生を対象とした17世紀から現代に至るまでの激動の国際関係を読み解く（Decipher）ための資料を収載した資料集である。

本書の前身である『資料で学ぶ国際関係』の初版の刊行は2011年、その後、2015年の第2版刊行を経て、さらに約4年の歳月が経過した。この間も国際社会の変動は続いている。この変動に対応した国際関係教育を行うために、前書に引き続き、現在、編著者の所属する中京大学法学部および総合政策学部で国際政治学や国際法学に関する授業を担当されている佐道明広教授（国際政治学）、小坂田裕子教授（国際法学）、小山佳枝教授（国際法学）に編集をお願いした。また、内容に関しても、前書に収められていた資料の中で必要であるものを引き継ぎつつも、教育上、新たに必要と思われる資料を、この4年間に現れたものも含め、可能な限り収録することとした。さらに、複雑化した国際関係を理解する上での道標を示すべく、編著者間で意見交換し、「基礎編」、「歴史編」、「現代国際社会の法と政治編」に大別した上で、17世紀から現代に至るまでの国際関係に関する資料の編集を進めた。この他、特に本書ではアクセスしやすいウェブサイト資料は極力削除して検索するよう誘導する代わりに理解をより深めさせるために新たな資料（年表・地図を含む）を追加している。

他方、前書と同様に、各章の最初には読書の道標を示すべく【解題】を、また事件ないし事象の全体像を把握するために、略年表や注を付している。

なお、徳川時代から現在に至る日本政治外交史に関する資料は姉妹編の『資料で学ぶ日本政治外交史』に収録されているので、併せて利用していただきたい。

最後に、本書の編集にあたって、編著者の要望に真摯に耳を傾けつつ、校正をはじめさまざまな点でご協力いただいた法律文化社の舟木和久氏に感謝の意を表したい。

2019年2月

編著者を代表して 古川 浩司